

野山の緑がっややかな色をみせ、風薫るさわやかな季節となりました。
日ごろより、当院の地域連携にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。
地域医療連携室では、より良い地域医療の充実に向け取り組んで参りますので、
何とぞよろしくお願い申し上げます。



名古屋市立緑市民病院皮膚科の紹介

皮膚科部長 磯村 巖

平素より多くの症例をご紹介頂き、誠にありがとうございます。名古屋市立緑市民病院に赴任して6年が経ちました。改めまして、現在当科で行っている診療や今後の取り組みなどについて触れさせて頂ければと思います。

【紫外線療法をはじめとした尋常性乾癬の治療】

尋常性乾癬は、ある種の免疫反応によって生じる慢性の炎症性皮膚疾患の一つです。ステロイドや活性化ビタミンD3の外用治療が一般的ですが、近年そのメカニズムの解析が進み、特定のサイトカイン中和抗体による生物学的製剤による治療が行われるようになりました。当院も使用施設としての認定を受け、治療にあたっています。年間数十万の費用は大きな負担ですが、既存の内服治療や紫外線治療などの全身療法に抵抗性を示す症例には有効ですので、もし症例がありましたらご紹介頂けると幸いです。

また当院ではナローバンドUVBを用いた紫外線療法も行っています。外用治療でコントロールできない乾癬に対して非常に有効な治療法の一つです。またこの治療は尋常性白斑や掌蹠膿疱症、難治性のアトピー性皮膚炎にも有効です。

【褥瘡の治療】

患者の高齢化が進み、生活自立度の低下に伴う褥瘡発生リスクは高まる一方です。諸先生方におかれましても往診で褥瘡の管理に難渋される場合もあるかと思えます。地域に根ざす病院として、緑市民病院皮膚科としても在宅での治療や処置が困難な褥瘡症例の入院を受け入れており、当地域でのより安心できる褥瘡治療を目指したいと考えております。また重症な症例に対する治療としてVAC療法(陰圧吸引療法)にも対応しております。これは創部を閉鎖して持続的な吸引を行うことで創部の湿潤環境を適切に保ち、かつ肉芽の増殖を促進する治療で、期間は3週間と限られますが、褥瘡の治療期間短縮に有効な治療の一つです。

これからも褥瘡の入院、治療、褥瘡ケアのコンサルトなど、何なりとご相談頂けると幸いです。

【陥入爪の治療】

当院赴任後から陥入爪の治療を開始致しました。諸先生方からも多くの症例をご紹介頂き、大変感謝しております。ワイヤー法による陥入爪矯正は侵襲もわずかで自宅での処置も必要なく、非常に患者さんにとって負担の少ない治療法です。多くの症例に適応がありますが、再発を繰り返す症例や重症な場合にはフェノール法による根治的陥入爪手術も行っています。手術となり、また術後1ヶ月程度の処置が必要になるものの、再発にほぼ悩まされることがなくなるのは患者さんにとって非常に大きなメリットです。

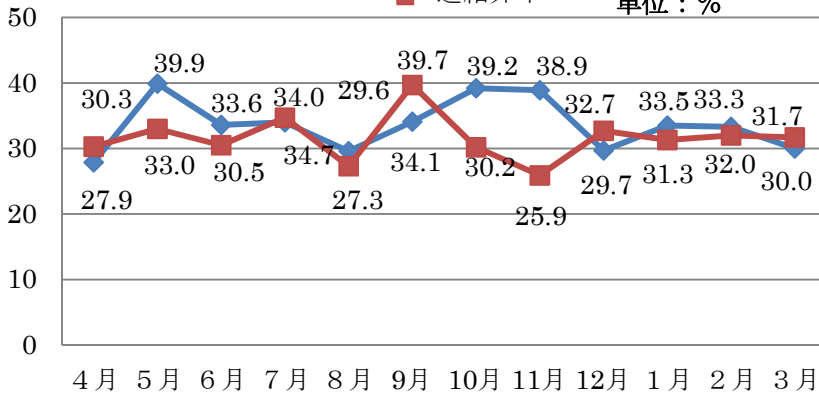
上記のほかにも皮膚科全般にわたりできる限りの診療を行い、地域の先生方のお力になればと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

◆◆◆ 医療統計 ◆◆◆



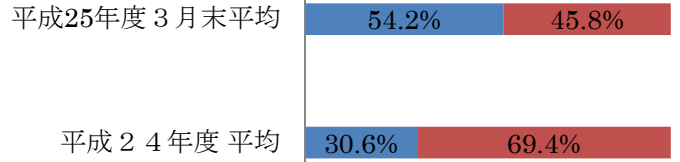
【紹介率】

◆ 紹介率
■ 逆紹介率
単位：%



【紹介患者予約率】

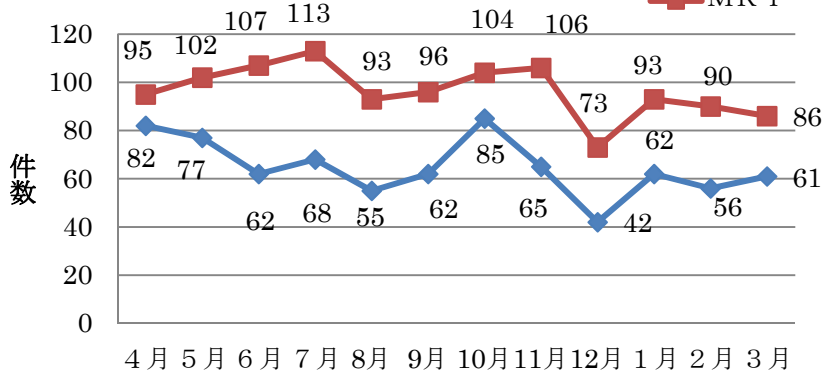
■ 予約受診 ■ 予約なし受診



※地域医療支援病院の紹介率で計算

【医療機器利用件数】

◆ CT
■ MRI



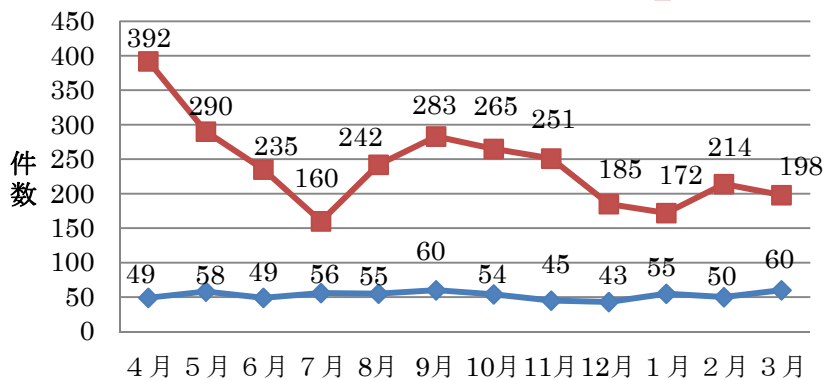
【予約受診のお願い】

患者さんをご紹介頂く際には、受診予約にご協力お願いします。
今後とも、患者さんの待ち時間短縮とスムーズな診療に引き続きご協力の程よろしくお願い申し上げます。



【医療相談件数】

◆ 新規
■ 継続



【休診のお知らせ】

5/22 (木)・5/23 (金) の内科の夏目医師の外来は休診になります。

第8回地域医療研究会のお知らせ

下記の通り、地域医療研究会を開催させていただきます。
ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席賜りたくご案内申し上げます。

日時：平成26年5月21日(水) 19:30~21:00

会場：名古屋市立緑市民病院 北館4階 講義室

一般講演 『ASVとその併用療法について』

名古屋市立緑市民病院 循環器内科部長 鈴木 理 先生

特別講演 『心筋梗塞と心不全』

名古屋市立大学大学院 医学研究科 心臓・腎高血圧内科学教授 大手 信之 先生